



CloudPhone Biz POP-UP

操作・設定ガイド

株式会社アジャストワン

本書には本装置を正しくご利用いただく為の、接続・設置方法、注意・警告事項が記載されている為、お使いになる前に必ずお読みになり、方法や注意事項を十分ご理解いただいた上でご利用ください。

本書は紛失しないように、大切に保管してください。

- ◆ 本書および本製品の一部または全部を無断で転載、複製、改変することはできません。
- ◆ 本書および本製品の内容は、改変・改良・その他の都合により予告無く変更することがあります。
- ◆ 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(事業利益の損失・事業の中止・記録内容の変化・消失など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- ◆ 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ◆ 接続機器との組み合わせによる誤動作から生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ◆ 『Windows® 7、Windows® 8、Windows® 10』は 米国 Microsoft Corporation の商品名称または登録商標です。

また、本書に記載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です

1-1. 概要	4
1-2. 動作環境	4
1-3. 機能	5
1-4. 構成ウィンドウ	6
1. インストール手順	7
2. 操作方法と設定手順	9
2-1. 起動と終了	9
■初回起動	9
2-2. 再試行要求ダイアログ	11
■認証失敗	11
■認証要求	11
2-3. メニュー	12
■メニュー一覧	12
3. 接続設定	13
3-1. CloudPhone Biz に接続する	13
■一般設定	13
■アカウント設定	14
4. 設定画面	15
4-1. 一般設定	15
■着信情報ウィンドウ設定	17
■外部連携先設定	18
4-2. アカウント設定	19
■アカウントの削除	20
■利用アカウントの切り替え	20
4-3. 着信情報ウィンドウ	21
4-4. CloudPhone Biz Pro	23
5. 顧客情報の新規登録	24
6. 電話帳機能	25
6-1. 電話帳画面	25
6-2. 電話帳メニュー	26
6-3. 連絡先の登録	27
6-4. グループの登録	27
6-5. クラウド電話帳と手動同期	28
6-6. 共通電話帳の自動同期	28
6-7. 電話帳のインポート	29
6-8. 電話帳のエクスポート	30
6-9. 連絡先の検索	31
7. 通話履歴の表示	32
7-1. 通話履歴ウィンドウ	32
7-2. 通話履歴のエクスポート	34

8. ソフトウェアの更新	35
8-1. アップデート確認	35
8-2. 最新バージョンにアップデート	35
9. 仕様	36

はじめに

1-1. 概要

CloudPhone Biz POP-UP は、SIP 電話機(CloudPhone Biz)と連携して着信時に相手側の情報を簡易的に表示し、他のアプリケーションやサービスとの連携を行う為のソフトウェアです。

本説明書は、CloudPhone Biz POP-UP の機能と操作方法について説明します。

*表示イメージ等、本書の内容は事前の告知なく変更される場合がございます事、ご了承願います。

1-2. 動作環境

項目	機能説明
OS	Windows 7(32/64bit)、 Windows 8(32/64bit)、 Windows10(32/64bit)
CPU	Intel Pentium4/Core 2 Duo:/Core Solo 1GHz 以上推奨 (電話クライアント推奨環境)
メモリ	1GB 以上推奨(電話クライアント推奨環境)
JVM	JRE6 Update 18~、JRE7、8(本ソフトウェアは Java を利用しております。)
接続先	CloudPhone Biz

表中の動作はバージョン 4.6 以降の動作となります。

※未記載の OS は未確認となります。

	Windows 7 32bit	Windows 7 64bit	Windows 8 32bit	Windows 8 64bit	Windows 10 32bit	Windows 10 64bit
Java6(JRE6) 32bit	○		—	—	—	—
Java6(JRE6) 64bit	—	×	—	—	—	—
Java7(JRE7) 32bit	○	○			—	—
Java7(JRE7) 64bit	—	○※			—	—
Java8(JRE8) 32bit	○				○	
Java8(JRE8) 64bit				○		○

※ Java7(JRE7) 64bit, Java8(JRE8)64bit をご利用の場合は別途 64bit 対応版をご利用ください。

それ以外は、OS に関わらず 32bit 版をご利用下さい。

1-3. 機能

本アプリケーションで提供する機能は以下になります。

項目名称	機能説明
設定	アプリケーションの起動設定や着信情報ウィンドウの表示タイミング、表示位置等の設定を行います。
アカウント登録	アプリケーションが接続する CloudPhone Biz のアドレス、ユーザ ID、パスワード等の設定を行います。
顧客情報登録	顧客情報を登録する画面を表示します。
電話帳	電話帳の表示・登録を行います。
通話履歴表示	通話の履歴を表示します。
状態表示	CloudPhone Biz の端末登録状態を表示し、端末登録/登録解除を行います。
アップデート確認	アプリケーションの最新バージョンを確認、アップデートを行います。
バージョン情報	アプリケーションのバージョン情報を表示します。
FAX 機能	クラウド PBX ではご利用頂けません。
FAX 送受信履歴	クラウド PBX ではご利用頂けません。
FAX 受信	クラウド PBX ではご利用頂けません。
終了	アプリケーションを終了します。
着信情報ウィンドウ内機能	
情報表示	着信相手の情報および前回通話者、担当者の情報を表示します。
対応履歴	着信相手に対する対応履歴画面を表示します。
WEB 検索	着信相手の情報を元に WEB 検索を行います。
連絡先編集	顧客情報を編集する画面を表示します。
詳細表示	着信相手の詳細情報の画面を表示します。

1-4. 構成ウィンドウ

CloudPhone Biz POP-UP は以下のウィンドウで構成されます。



項目	機能説明
CloudPhone Biz POP-UP	本紙で説明するアプリ
CloudPhone Biz	ソフトフォン

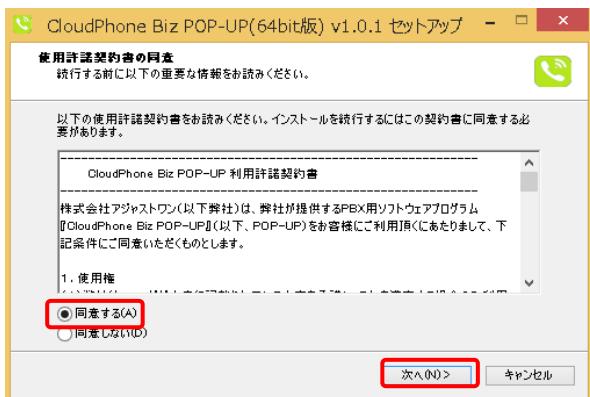
※CloudPhone Bizについての説明は別紙「CloudPhone Biz Windows 版 操作・設定ガイド」をご参照ください。

1. インストール手順

1.PC の OS に対応したインストーラーをクリックします。

□ 名前	更新日時	種類
190930_POPUP.zip	2019/09/30 13:46	ZIP ファイル
CloudPhone Biz for Windows-6_8_3_win8-10.exe	2019/09/30 12:42	アプリケーション
cloudphonebiz-pop-1.0.1.exe	2019/09/30 12:22	アプリケーション
cloudphonebiz-pop-1.0.1_x64.exe	2019/09/30 12:24	アプリケーション
cloudphonebiz-pop-1.0.1-win8_10.exe	2019/09/30 12:23	アプリケーション

2. 利用許諾契約書を良くお読みください。[同意する]を選択すると[次へ]がクリックできるようになります。



3. CloudPhone Biz POP-UP をインストールするフォルダを選択します。フォルダが存在しない場合自動的に作成されます。

[次へ]をクリックし、セットアップを続行します。



4. チェックを入れて、[次へ]をクリックし、セットアップを続行します。



5. [インストール]をクリックし、セットアップを続行します。



5. [完了]をクリックし、セットアップが完了します。



2. 操作方法と設定手順

2-1. 起動と終了

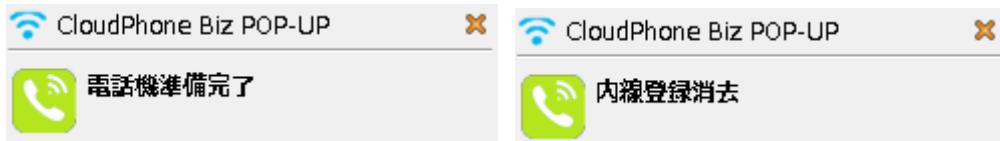
■初回起動



1. アプリケーションを起動すると、アカウント登録ダイアログが表示されます。
2. 「連動電話機」を選択します。
 - ・「SIP フォン/ソフトフォン」: SIP フォンまたは CloudPhone Biz Windows(v6.2 未満)と連動する場合に選択します。 SIP フォンと連動する場合は PC に固定アドレスを設定する必要があります。
 - ・「ソフトフォン(配下で利用)」: CloudPhone Biz Windows (v6.2 以上)と連動する場合に選択します。
 - ・「連動しない」: ソフトフォンを使用せず、PC に固定 IP アドレスが設定できない場合に選択します。グループ着信時に情報ウィンドウを表示します。(着信は同一着信グループの SIP フォン等で受けます)
3. 「テナントコード」に、CloudPhone Biz で使用するテナントコードを入力します。
4. 「内線番号」に、アプリケーションが使用する内線番号を入力します。**(例) 301**
5. 「パスワード」に、内線番号に対応するパスワードを入力します。
6. 「連動電話機」で「SIP フォン/ソフトフォン」または「連動しない」を選択した場合、「サーバアドレス」に【**127.0.0.1**】を、「HTTP ポート番号」に【**18080**】を入力します。
7. 「登録」ボタンを押すと、アカウント情報を保存し、端末登録を行います。
8. タスクトレイにアイコンが表示されます。サーバへの番号登録が成功し、内線側電話機の準備が完了した(電話が着信できる状態)場合は 、失敗またはアカウント登録をキャンセルした場合は のアイコンとなります。

■内線電話機の登録

連動する内線電話機の登録が完了すると、タスクトレイからメッセージがポップアップします。番号登録を削除した際にも同様に表示されます。



■登録状態の確認

タスクトレイのアイコンをクリックすると、設定した内線番号と、現在の番号登録状態が表示されます。

[登録済]になると、通話を行うことができます。



■終了

タスクトレイのアイコンを右クリックし、メニューを表示します。メニューから「閉じる」を選択します。

自動的にオフラインとなり、端末登録削除パケットを送信します。その後、タスクトレイからアイコンが消去されます。



2-2. 再試行要求ダイアログ

サーバ認証に失敗したり認証情報が未入力である場合、再試行のためのダイアログが表示されます。

■認証失敗



1. パスワードが間違っている場合は認証失敗となり、再入力ダイアログが表示されます。
2. 正しい設定を入力し[OK]を押すと、入力情報を使用して認証を行います。認証に成功するとタスクトレイのアイコンがオンライン状態に変わります。
その際に[パスワードを保存]にチェックを入れると、新たに設定したパスワードを設定情報として保存します。

■認証要求



1. パスワードを保存せずにアカウントを登録した場合、アプリケーション起動時に毎回パスワード要求ダイアログが表示されます。
2. パスワードを入力して[OK]を押すと認証を行います。認証に成功するとタスクトレイのアイコンがオンライン状態に変わります。
その際に[パスワードを保存]にチェックを入れるとパスワードが保存され、以降の起動時にはこのダイアログが表示されなくなります。

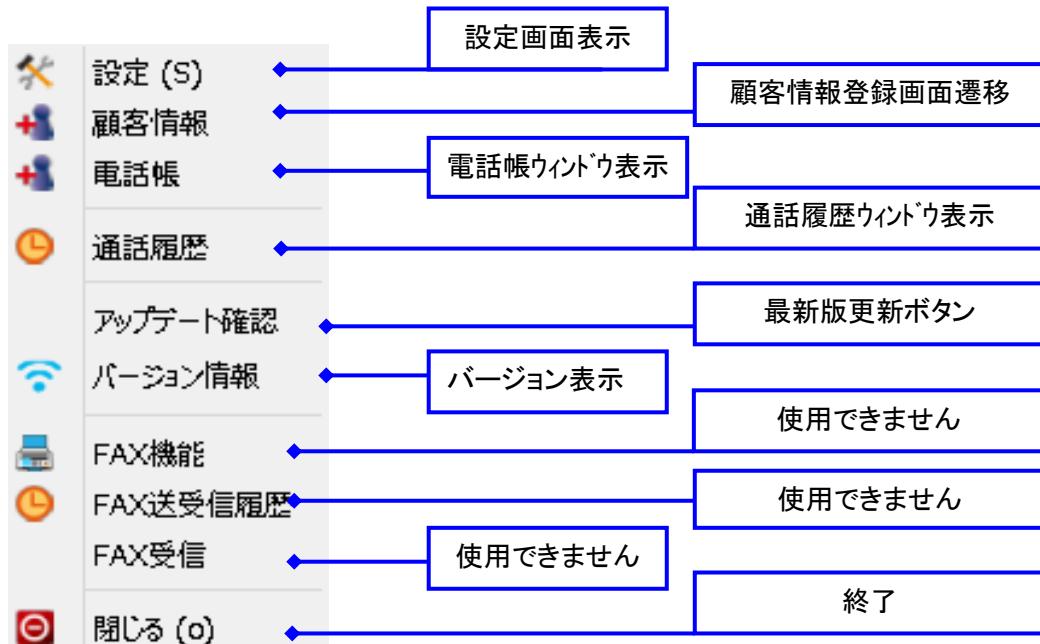
2-3. メニュー

■メニュー一覧

タスクトレイのアイコンを右クリックするとメニューが表示されます。

メニューには、以下の項目があります。

各項目をクリックすることにより、各機能を利用する事ができます。



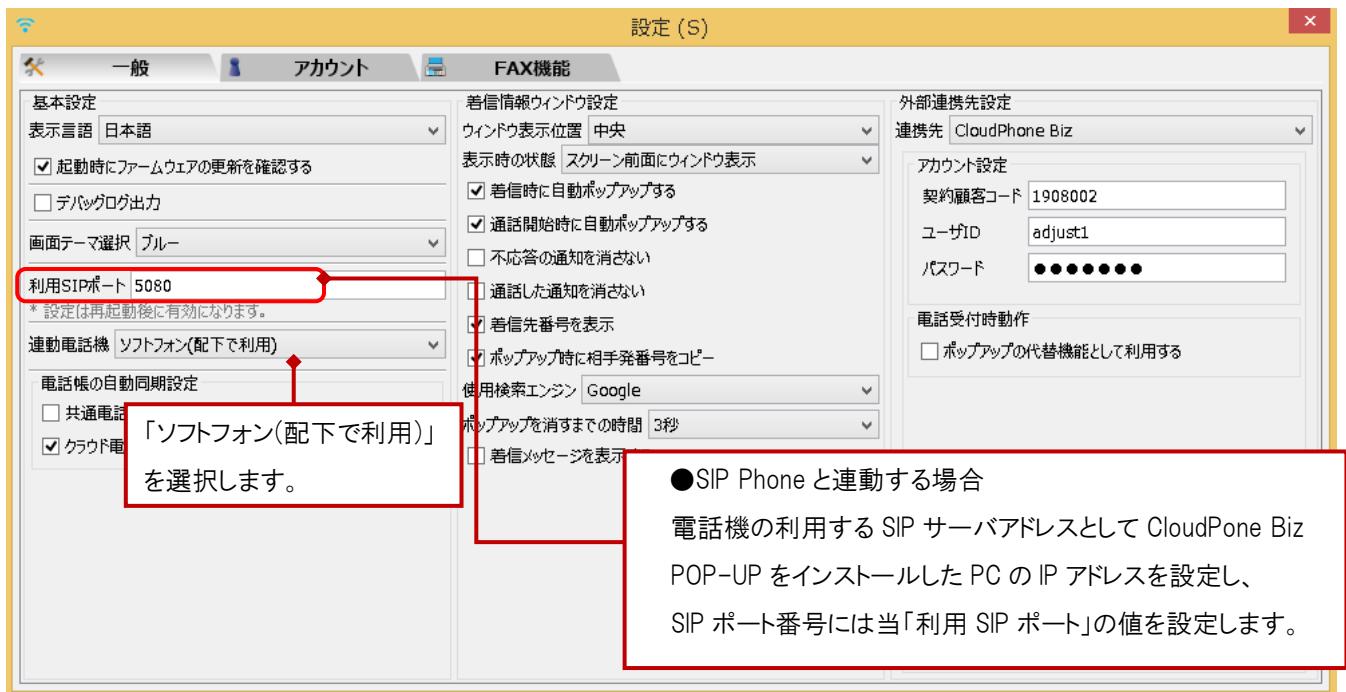
項目名称	機能説明
設定	アプリケーションおよびアカウント情報の設定を行います。
顧客情報	外部連携先の設定に応じて、MOT/PBX、MOT/Cloud または指定の外部サイトの画面を表示、もしくは指定アプリケーションの起動を行います。
電話帳	PC に保存されている電話帳情報を表示します。外部連携先の「電話帳連携機能を利用する」を有効にしている場合は指定のサイト・アプリを表示します。
通話履歴	PC に保存されている通話履歴を表示します。
アップデート確認	アプリケーションの最新バージョンを確認、アップデートを行います。
バージョン情報	アプリケーションのバージョン情報を表示します。
FAX 機能	使用できません。
FAX 送受信履歴	使用できません。
FAX 受信	使用できません。
閉じる	アプリケーションを終了します。

3. 接続設定

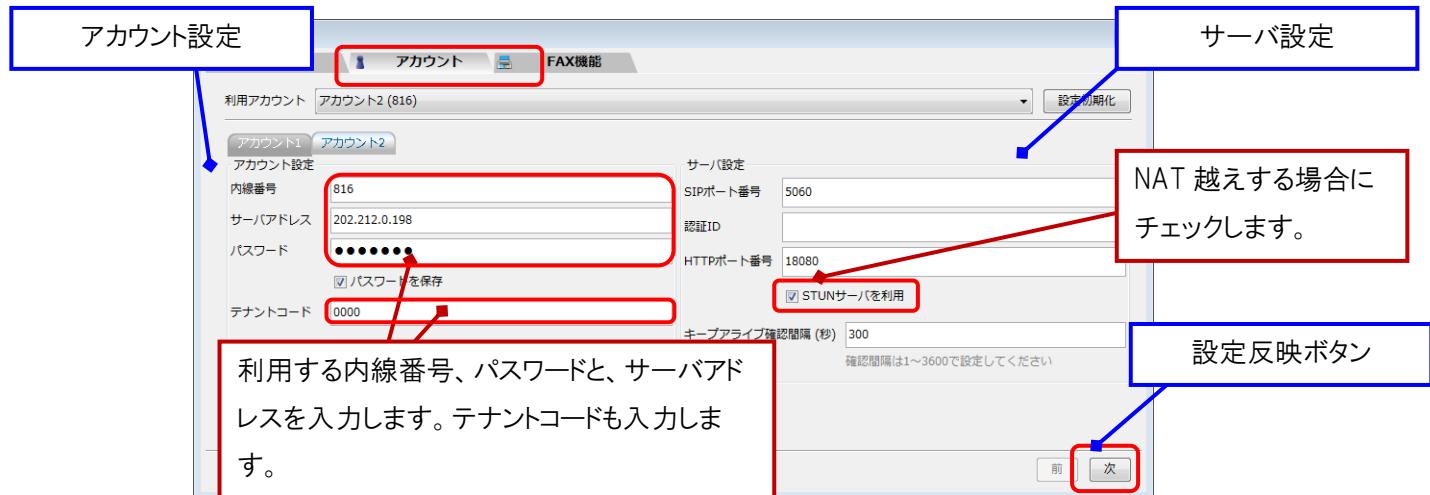
3-1. CloudPhone Biz に接続する

本アプリケーションを接続し、その下にSIP電話機を接続する場合は以下のように設定します。

■一般設定



■アカウント設定



アカウントを登録し、[次]ボタンを押下すると確認画面が表示されます。

確認画面で入力した設定項目を確認後、[登録]を押す事で設定が保存されます。

連動電話機の設定を変更した場合はアプリケーションを再起動してください。

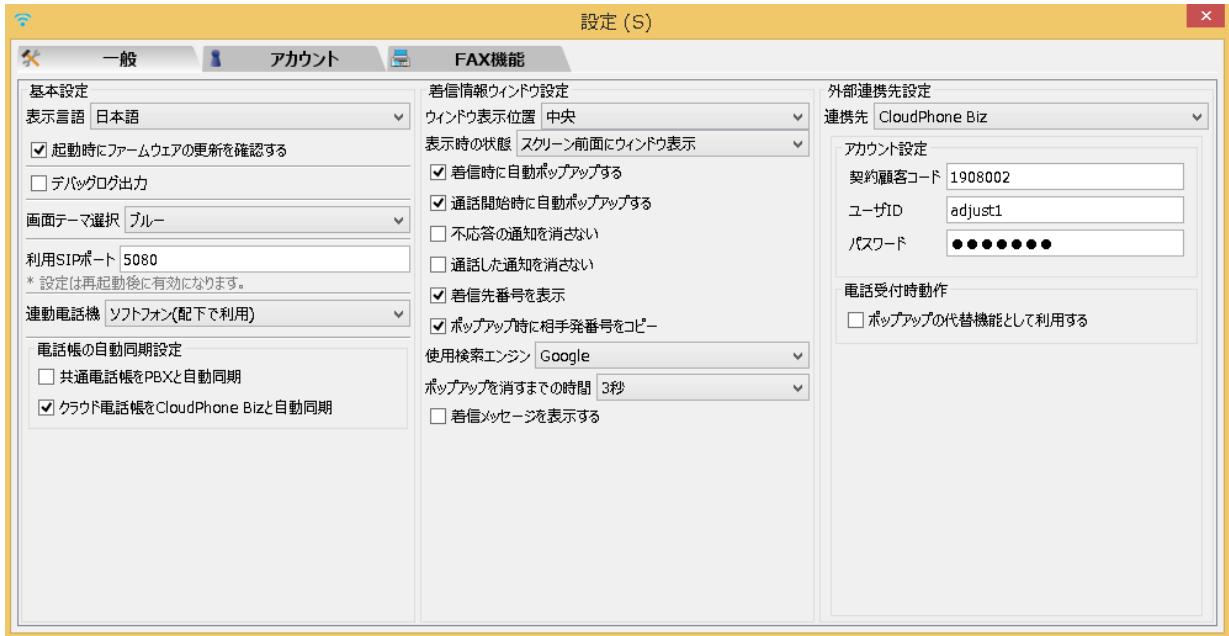


項目名称	機能説明
利用アカウント	使用するアカウントを選択します。
内線番号	使用する内線番号を入力します。
サーバアドレス	127.0.0.1 を入力します。
パスワード	パスワードを入力します。
パスワードを保存	パスワードを保存する場合にチェックします。
テナントコード	使用するテナントコードを入力します。
SIP ポート番号	5090 を入力します。 デフォルト値は 5060 番です。
HTTP ポート番号	18080 を入力します。 デフォルト値は 18080 番です。
STUN サーバ利用	チェックを外します。
キーパーライブ確認間隔	キーパーライブ確認を行なう間隔を入力します。
設定初期化	選択中アカウントの設定を削除します。

4. 設定画面

タスクトレイのメニューから「設定」の項目をクリックすると、設定メニューウィンドウが表示されます。

左部の設定メニュー項目を選択すると、右部に各項目用の設定画面が表示されます。



項目名称	機能説明
一般	起動設定や着信情報ウィンドウの表示タイミング、位置等の設定を行います。
アカウント	接続先アドレス、内線番号、パスワード等の設定を行います。
FAX 機能	使用できません。

4-1. 一般設定

自動起動設定、着信情報ウィンドウの表示タイミング、位置等の設定を行います。

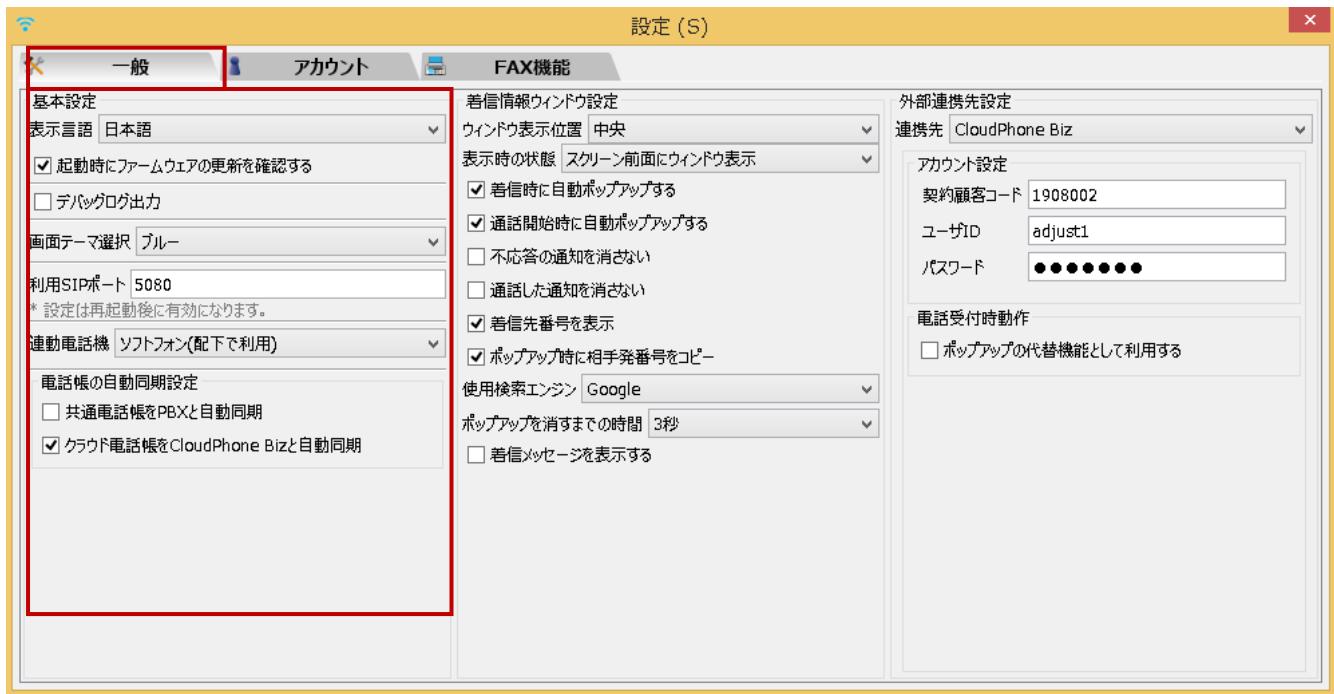
表示された設定ウィンドウの[一般]を選択します。

設定変更は即座に反映されます。一部の項目は、次回の起動時に有効になります。



■基本設定

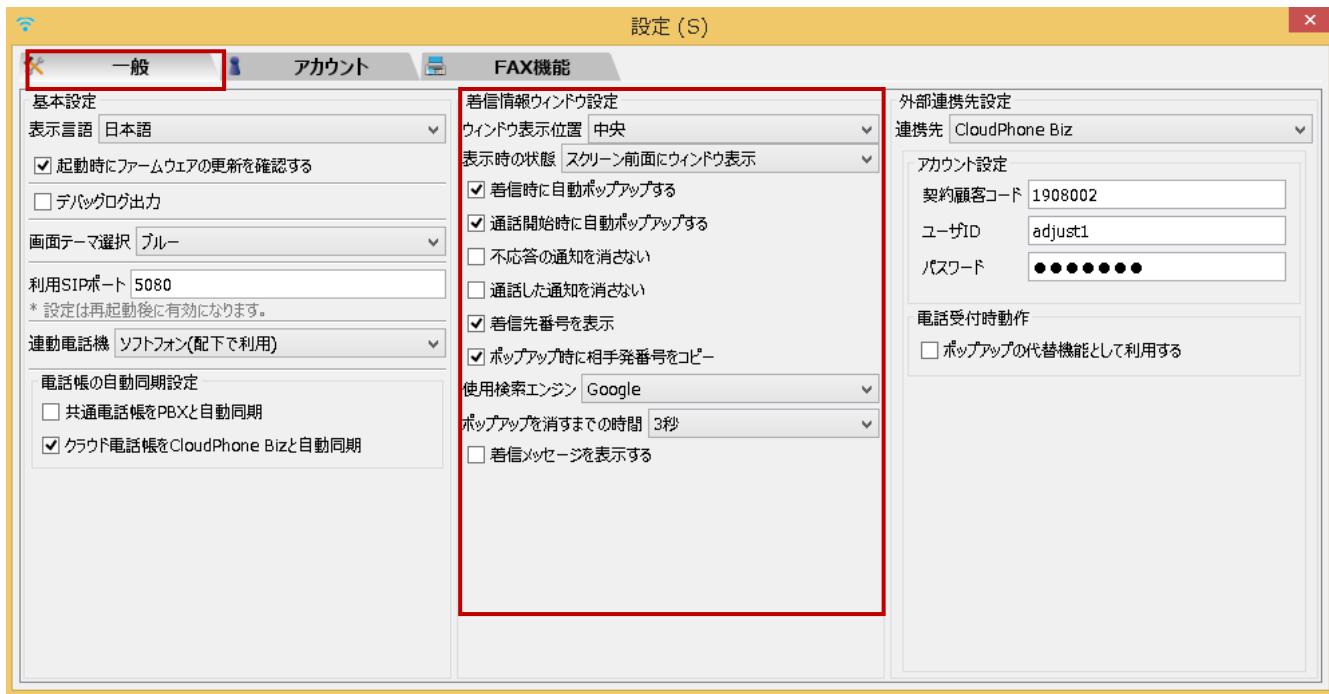
本アプリケーションの基本的な設定を行います。



項目名称	機能説明
表示言語	表示に使用する言語を選択します。(日本語のみ)
起動時にファームウェアの更新を確認する	アプリケーション起動時に、自動で最新のアプリケーションの確認を行います。新しいアプリケーションが見つかった場合はアップデートウィンドウを表示します。
デバッグルог出力	デバッグ用のログをログファイルに出力します。
画面テーマ選択	着信情報ウィンドウのテーマを選択します。設定は再起動後に有効になります。
利用 SIP ポート	使用する SIP ポート番号を設定します。設定は再起動後に有効になります。 (初期値 5080)
連動電話機	着信時に電話機を鳴動させる場合は「SIP フォン/ソフトフォン」を選択します。 CloudPhone Biz Windows v6.2 以上と連動する場合は「ソフトフォン(配下で利用)」を選択し、ソフトフォンの配下で動作するように設定します。 ソフトフォンを利用せず、PC に固定 IP アドレスが設定できない場合は「連動しない」を選択すると、グループ着信時に情報ウィンドウを表示、または指定した外部連携先(アプリ/URL)と連動することができます。
電話帳の自動同期設定	CloudPhoneBiz Pro クラウド電話帳と自動的に同期することができます。 設定は再起動後に有効になります。

■着信情報ウィンドウ設定

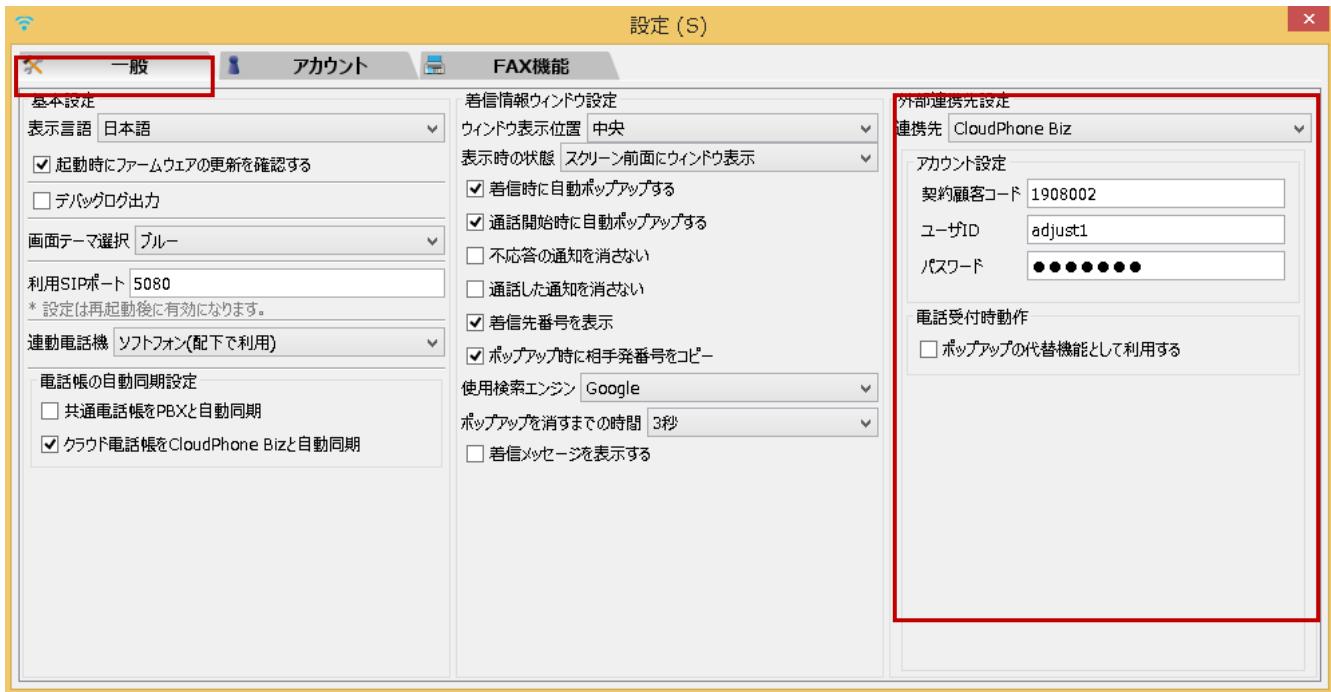
着信情報ウィンドウの表示位置、表示時間、表示項目などの設定を行います。



項目名称	機能説明
ウィンドウ表示位置	着信・通話開始時に表示する情報ウィンドウの位置を、[左上][左中央] [左下] [中央上] [中央] [中央下] [右上] [右中央] [右下]の中から選択します。
表示時の状態	情報ウィンドウ表示時に他のウィンドウよりも前に表示するか、あるいは最小化して表示するかを選択します。
スクリーン前面にウィンドウ表示	情報ウィンドウを最前面に表示します。
スクリーン背面にウィンドウ表示	情報ウィンドウを他のウィンドウの後ろに表示します。
ウィンドウを最小化して表示	情報ウィンドウを最小化し、タスクバーのアイコンのみ表示します。
着信時に自動ポップアップする	着信があった時に情報ウィンドウを表示します。
通話開始時に自動ポップアップする	着信に応答し、通話が開始したときに情報ウィンドウを表示します。
不応答の通知を消さない	着信に応答出来なかった場合や、他の電話機で応答した場合の通知ウィンドウを自動的に消さずに残します。※手動での消去となります。
通話した通知を消さない	通話した際に表示された通知ウィンドウを自動的に消さずに残します。 ※手動での消去となります。
着信先番号を表示	着信先の電話番号を表示します。
ポップアップ時に相手発番号をコピー	着信情報ウィンドウを表示したタイミングで相手番号をクリップボードにコピーします。
使用検索エンジン	着信情報ウィンドウの「WEB検索」で使用する検索エンジンを選択します。
ポップアップを消すまでの時間	着信情報ウィンドウ表示から自動的に閉じるまでの間隔を選択します。 表示する時間を[0秒][1秒][2秒][3秒][4秒][5秒][30秒][60秒][120秒][180秒]から選択します。 ※不応答の通知、通話した通知を消さない設定がなされていない場合に有効となります。
着信メッセージを表示する	着信があった時に、画面右下に着信メッセージを表示します。

■外部連携先設定

着信情報ウィンドウの[電話受付]押下時、右クリックメニューの[顧客情報][電話帳]選択時に、外部の機器、ウェブサイト、アプリケーションと連携を行う為の設定を行います。



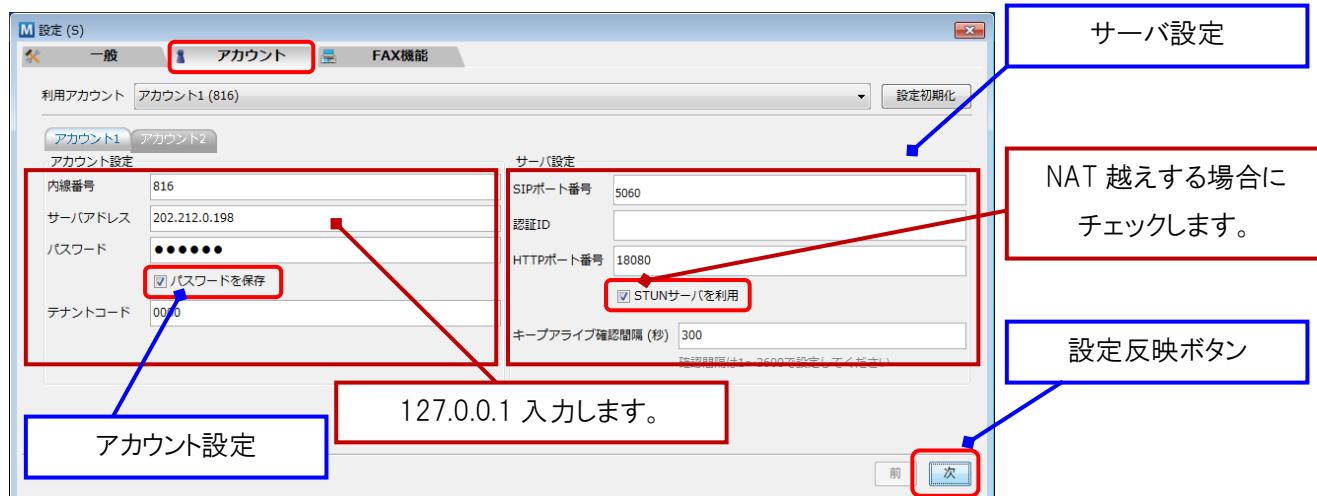
項目名称	機能説明
連携先	着信情報ウィンドウと右クリックメニューで使用する、外部連携先を選択します。
1 CloudPhone Biz	CloudPhone Biz の設定画面を使用します。
1 契約顧客コード	サービスの契約顧客コードを入力します。
2 ユーザ ID	サービスのログイン用ユーザ ID を入力します。
3 パスワード	ユーザ ID で使用するパスワードを入力します。
4 契約顧客コード	サービスの契約顧客コードを入力します。
5 ユーザ ID	サービスのログイン用ユーザ ID を入力します。
6 パスワード	ユーザ ID で使用するパスワードを入力します。
7 ポップアップの代替機能として利用する	着信時、着信情報ウィンドウ表示の代わりに WEB ブラウザで利用サービスの電話受付画面を開きます。

4-2. アカウント設定

アプリケーションが使用する内線番号、パスワードや使用するポート番号設定等を行います。

表示された設定ウィンドウの[アカウント]を選択します。

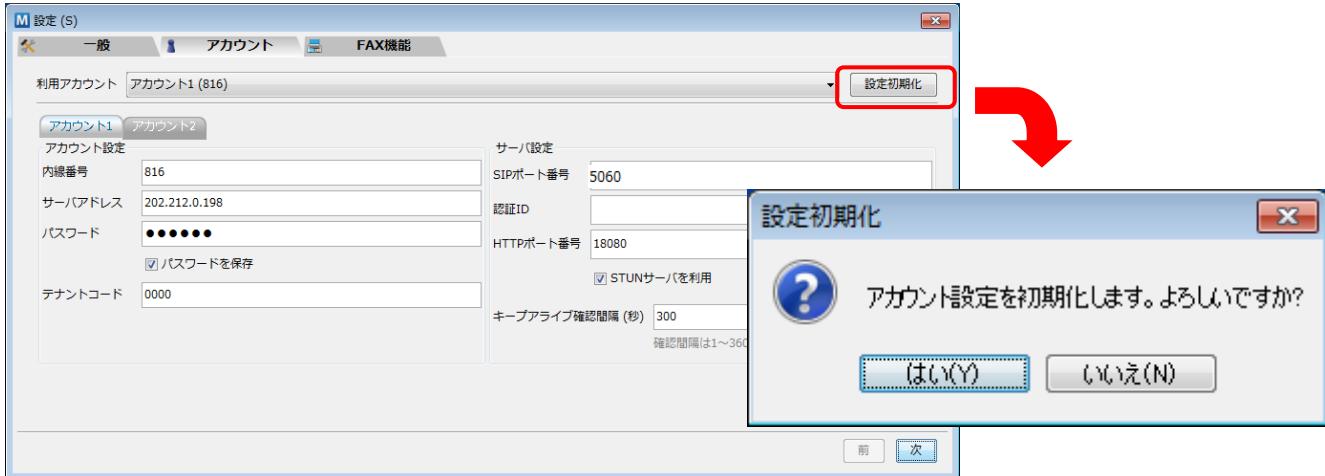
アカウントは最大 2 個設定でき、どちらかを使用します。各アカウント設定はタブを切り替えて行います。



項目名称	機能説明
利用アカウント	使用するアカウントを選択します。
内線番号	使用する内線番号を入力します。
サーバアドレス	127.0.0.1 を入力します。
パスワード	パスワードを入力します。
パスワードを保存	パスワードを保存する場合にチェックします。
テナントコード	テナントコードを入力します。
SIP ポート番号	サーバの SIP ポート番号を入力します。ソフトフォン配下利用の場合はソフトフォンのクライアント SIP ポートと同じ値を入力します。
認証 ID	認証に使用する ID を入力します。(空欄の場合は内線番号を使用します)
HTTP ポート番号	HTTP ポート番号を入力します。(初期値 18080)
STUN サーバ利用	NAT 越えを有効にします。
キープアライブ確認間隔	キープアライブ確認を行う間隔を入力します。
設定初期化	選択中アカウントの設定を削除します。

■アカウントの削除

[設定初期化]ボタンを押すと、アカウント設定の初期化確認メッセージが表示されます。[はい]を選択すると、その時表示しているアカウントの設定が初期化されます。



■利用アカウントの切り替え

利用アカウントを変更する場合、[利用アカウント]の選択を変更し[次]-[登録]ボタンを押します。

設定が保存された時点で、今まで使用していたアカウントのサーバに対して登録解除を行い、同時に、新たな利用アカウントをサーバ登録します。

※ ソフトフォン配下で利用時は、利用アカウントの切り替えはソフトフォンで行います。本アプリケーションのアカウントを変更する必要はありません。



4-3. 着信情報ウィンドウ

着信もしくは通話開始時に、発信元の情報を表示するメインウィンドウです。(初期値:通話開始時)



項目名称	機能説明
相手番号	発信元の番号を表示します。
顧客名	番号に関連付けられた顧客名、住所を表示します。情報がない場合は「未登録」と表示されます。[設定]-[一般]で「着信先番号を表示」がチェックされている場合は着信先の番号が表示されます。 顧客名称～最大 25 文字、着信先表示の場合は一部文字が重なります。 住所 ～最大 48 文字、着信先表示の場合は一部文字が重なります。 また、顧客名称が1列以上になる場合はその分文字が表示されません。
担当者	優先着信先に設定されている内線番号および名称を表示します。情報がない場合は「未登録」と表示されます。
前回通話	前回の通話終了時刻とその時の通話者名を表示します。
通話履歴	発信元との通話履歴を表示します。 一週間分の発着信の履歴を確認することができます。
WEB 検索	着信相手の情報(住所、名称、電話番号)を元に WEB 検索を行います。 URL の情報が登録されている場合はその URL の画面を表示します。
電話受付	顧客情報を編集する画面を表示します。 電話受付情報と顧客情報を表示します。

[設定]-[一般]-[着信情報ウィンドウ設定]の各項目の設定によって以下のように動作します。

[表示時の状態]に[スクリーン前面にウィンドウ表示]を選択すると、スクリーンの最前面にウィンドウを表示します。

[スクリーン背面にウィンドウ表示]を選択すると、他のウィンドウより後ろにウィンドウを表示します。

[ウィンドウを最小化して表示]を選択すると、タスクバーにアイコンを表示します。クリックするとウィンドウが表示されます。

[着信時に自動ポップアップする]にチェックを入れると、着信があった際に表示します。

[通話開始時に自動ポップアップする]にチェックを入れると、通話を開始した際に表示します。

[不応答の通知を消さない]にチェックを入れると、応答しなかった通話のウィンドウは手動で閉じない限り表示され続け、着信をする度に新しいウィンドウを表示します。

[通話した通知を消さない]にチェックを入れると、応答した通話のウィンドウは手動で閉じない限り表示され続け、着信をする度に新しいウィンドウを表示します。

[着信先番号を表示]にチェックを入れると、顧客名の下に着信先番号が表示されます。

[ポップアップ時に相手発番号をコピー]にチェックを入れると、着信情報ウィンドウが表示されたタイミングで相手番号をクリップボードにコピーします。コピーした番号はテキストエディタ等に貼り付けることが出来ます。

4-4. CloudPhone Biz Pro

着信時に直接画面を表示するウィンドウです。

[設定]-[一般]で[外部連携先設定]の[連携先]を[CloudPhone Biz]に設定し、[電話受付時動作]-[ポップアップの代替機能として利用する]にチェックを入れると、着信時に直接画面を表示します。

The screenshot shows the CloudPhone Biz Pro application window. At the top, there's a header bar with the CloudPhone Biz logo, a search bar, and a login button. Below the header, the main interface has several sections:

- Call Log:** Shows a list of recent calls with columns for Name, Type, Date, and Time.
- Contact Details:** A large section titled "取引先の詳細" (Contact Details) displays information about a selected contact, including company name (株式会社アジャストワン), address (〒177 東京都千代田区飯田橋3-11-13-FOREST'飯田橋4F), and phone numbers (0352113388, 0120874839).
- Call Log (Details):** A sub-section under "Call Log" showing a single entry: "電話メモの登録はありません。" (No call log entry registered).
- Assignee Information:** A section titled "取引先担当者" (Assignee) showing the assignee (内村), role (役職), email (E-mail), phone number (電話番号), and mobile number (携帯番号).
- Meetings:** A section titled "商談" (Meeting) showing a message: "商談の登録はありません。" (No meeting entry registered).
- To-Do List:** A section titled "ToDo" showing a message: "ToDoの登録はありません。" (No ToDo entry registered).
- Actions:** A section titled "行動" (Action) with a search bar for past scheduled actions.
- Appointment History:** A section titled "アポイント履歴" (Appointment History) showing a message: "行動の登録はありません。" (No action entry registered).

※CloudPhone Biz Pro の使用方法については別紙「CloudPhone Biz Pro 操作マニュアル」をご参照ください。

5. 顧客情報の新規登録

タスクトレイアイコンを右クリックしてメニューを表示し、「顧客情報」の項目をクリックすると、ブラウザを開き、取引先設定画面を表示します。



6. 電話帳機能

タスクトレイアイコンを右クリックしてメニューを表示し、「電話帳」の項目をクリックすると、電話帳が表示されます。また、MOT/Phone の「電話帳」ボタンをクリックすることで、電話帳を表示させることができます。



6-1. 電話帳画面

電話帳内の連絡先をダブルクリックすることで CloudPhone Biz からの発信ができます。

また電話帳に登録した短縮番号を利用して CloudPhone Biz から発信することが可能です。

The screenshot shows the CloudPhone Biz phone book interface. On the left, a list of contacts is displayed. A contact for '社員 B' (Employee B) is highlighted with a red box. A callout bubble points to this contact with the text '右クリックでメニュー表示' (Right-click to display the menu). Another callout bubble points to the contact list with the text 'ダブルクリックでの発信も可能です。' (Double-clicking also allows for calling). An arrow points from the contact list to a context menu on the right, which includes options for '発信' (Call), '連絡先編集' (Edit Contact), and '連絡先削除' (Delete Contact). On the far right, a table provides detailed information about these functions:

項目名称	機能説明
発信	CloudPhone Biz より発信します。 複数番号登録時は、電話番号を選択して 発信できます。
連絡先編集	編集画面を表示します。
連絡先削除	該当データを削除します。

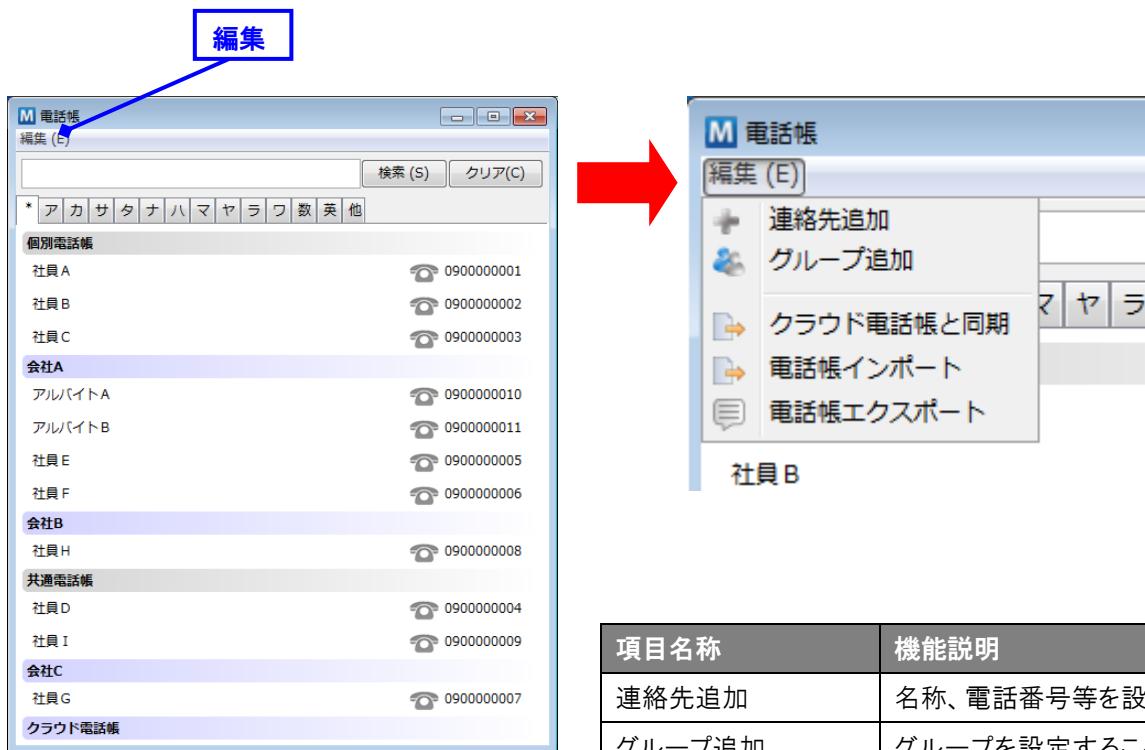
※連絡先に複数番号が登録されている場合は、優先番号に設定した番号に対して発信します。

※[外部連携設定]にて、電話帳の連携先を指定していた場合、そちらが呼び出されます。

 Skype 等、他のクリック発信対応アプリがインストールされていると、電話帳のクリック発信機能が利用できない場合があります。クリック発信出来ない場合は、他のアプリをアンインストール後、CloudPhone Biz の再インストールが必要です。

6-2. 電話帳メニュー

電話帳ウィンドウのツールバーの[編集]をクリックするとメニューが表示されます。



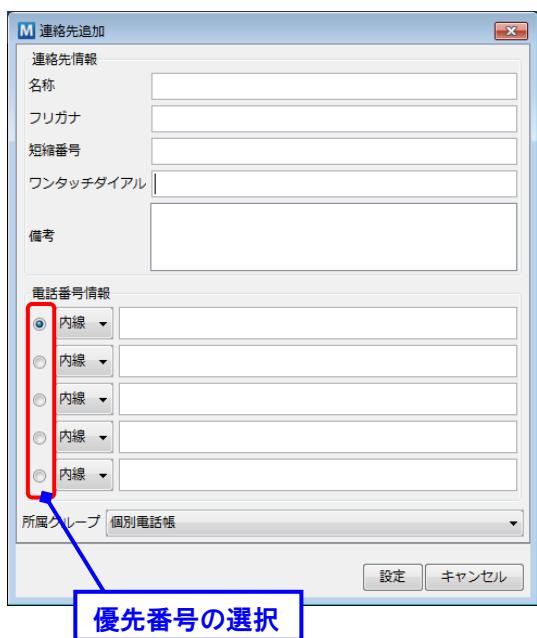
項目名称	機能説明
連絡先追加	名称、電話番号等を設定します。
グループ追加	グループを設定することで連絡先情報をグループ毎に管理できます。
クラウド電話帳と同期	[外部連携先]に CloudPhone Biz のアカウント情報が設定済の場合に表示されます。CloudPhone Biz の電話帳を取得します。
電話帳インポート	CSV データより電話帳を登録します。
電話帳エクスポート	連絡先を CSV ファイルに保存します。

6-3. 連絡先の登録

[編集]-[連絡先追加]より、連絡先の情報を登録します。

1つの連絡先に対して5番号まで設定できます。

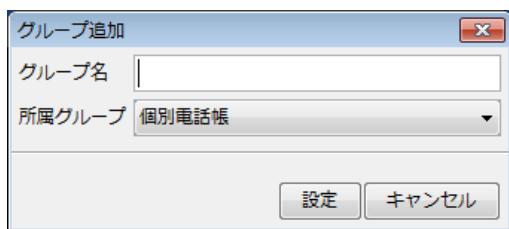
複数の電話番号を登録した場合、優先発信する番号を1つ選択します。優先番号は連絡先一覧画面からのダブルクリック時、および短縮番号発信時の発信先として使用されます。



項目名称	機能説明
連絡先情報	
名称	電話帳一覧に表示します。
フリガナ	50音の絞り・並び順に利用します。
短縮番号	00~99, 000~500が設定できます。 CloudPhone Biz から短縮番号をダイヤルすることで発信できます。 ※パーク保留のピックアップに使用する番号と同じ番号は使用しないでください。
ワンタッチダイアル	未使用
備考	未使用
電話番号情報	
優先番号の選択	優先番号として使用する番号を選択します
内線/外線	内線または外線を選択します。
電話番号	電話番号を登録します。
所属グループ	グループを選択します。

6-4. グループの登録

[編集]-[グループ追加]より、連絡先情報管理用のグループを作成します。



項目名称	機能説明
グループ名	グループの名称を設定します。
所属グループ	親グループを選択します。 ※[個別電話帳][共通電話帳]が選択可能です。

6-5. クラウド電話帳と手動同期

[編集]-[クラウド電話帳と同期]をクリックすると、MOT/Cloud の共通電話帳データを取得して、「クラウド電話帳」グループのデータに反映します。

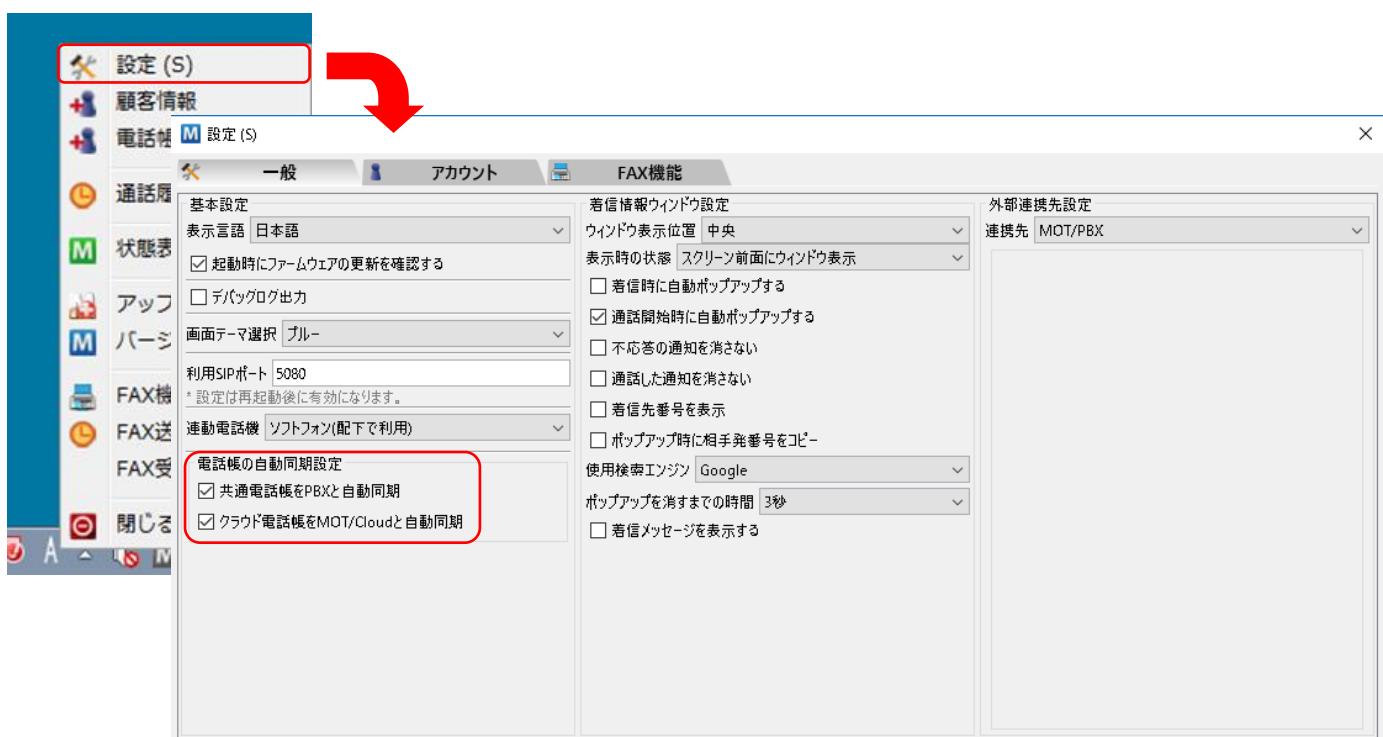
※連絡先件数が 1 万件を超える場合、PC のメモリ容量によっては正常動作しない場合があります。



6-6. 共通電話帳の自動同期

1 日に 1 回(深夜 2 時-5 時の間)、またはアプリ起動時に自動的に電話帳を更新します。

※設定変更後はアプリを再起動してください。

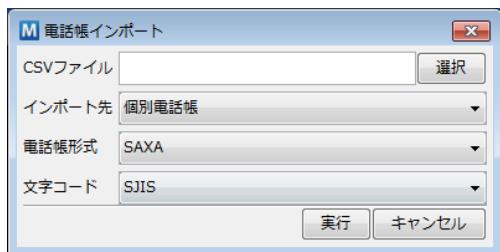


⚠️ 電話帳取得において、PC にインストールされているセキュリティソフトやネットワーク上に設置されている機器により電話帳の取得ができない場合がございます。

その際は、セキュリティソフト及びネットワーク機器の設定変更が必要になる場合がございます。

6-7. 電話帳のインポート

[編集]-[電話帳インポート]より、CSV ファイルをインポートして、電話帳データを更新します。



項目名称	機能説明
CSV ファイル	インポートする CSV ファイルを選択します。
インポート先	インポート先を選択します。 ※[個別電話帳][共通電話帳]が選択可能です。 ※以前のデータは削除されます。
電話帳形式	インポートファイルがどの電話帳形式に準ずるかを選択します。
文字コード	「SJIS」を選択します。

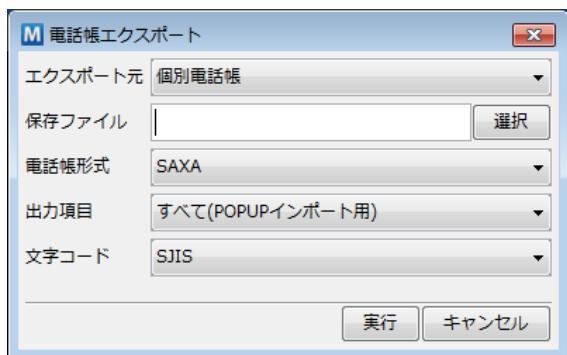
インポート可能なファイルは、以下の順で各項目の値を記述した CSV ファイルです。

ファイルの文字コードは Shift-JIS である必要があります。

6-8. 電話帳のエクスポート

[編集]-[電話帳エクスポート]より、電話帳データを CSV ファイルとして保存します。

出力項目を[電話帳項目のみ]でエクスポートした CSV ファイルは、対象電話機に対し、そのまま電話帳ファイルとして管理画面からインポートすることが可能です。



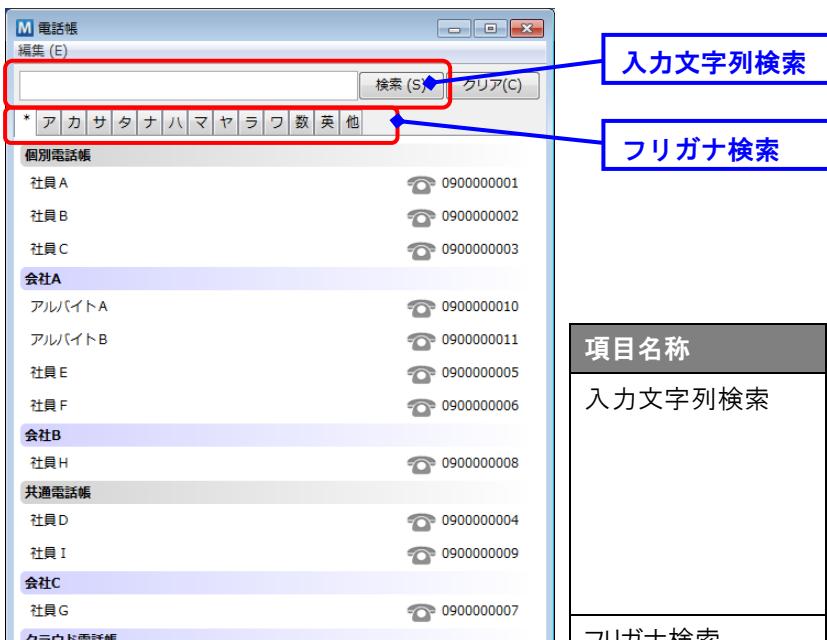
項目名称	機能説明	
エクスポート元	データ出力する電話帳を選択します。 [個別電話帳][共通電話帳]から選択可能です。	
保存ファイル	データの保存先ファイルを選択または入力します。	
電話帳形式	出力する電話帳形式を選択します。	
出力項目	出力する項目を選択します。	
	すべて	POP-UP 電話帳の全項目を出力
電話帳項目のみ	選択した電話機の電話帳用ファイルとして出力します。	
文字コード	'SJIS'を選択します。	



出力項目を「電話帳項目のみ」にした際、電話機の電話帳登録者名における最大文字数を超えた名前は、超えた分の文字列がカットされます。

6-9. 連絡先の検索

連絡先の名称、フリガナ、登録電話番号で絞り込みを行います。絞り込みは文字列の前方一致で行います。



項目名称	機能説明
入力文字列検索	[名称][フリガナ][電話番号]のいずれかが、検索文字列に入力した文字列に一致する連絡先のみを表示します。 「クリア」を押下する事で検索結果を初期化します。
フリガナ検索	選択タブによるフリガナの五十音検索を行います。[*]を選択した場合は全連絡先が表示されます。

7. 通話履歴の表示

タスクトレイアイコンを右クリックしてメニューを表示し、「履歴を表示」の項目をクリックすると、本アプリケーションで行った通話の履歴画面を表示します。

また、「履歴」ボタンをクリックすることで、通話履歴画面を表示させることができます。

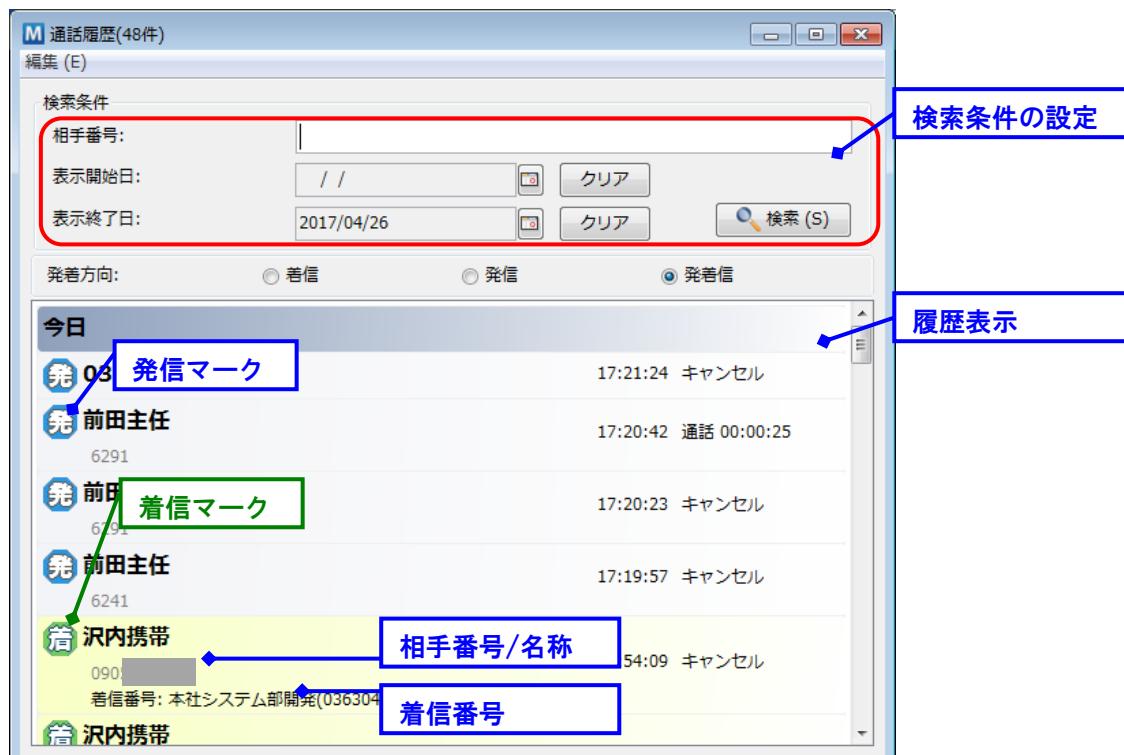


7-1. 通話履歴ウィンドウ

当アプリケーションを経由して行った発着信の履歴を表示します。相手番号や発着信の方向、表示の開始、終了日により表示する履歴を絞り込むことができます。

履歴をダブルクリックすると、ソフトフォンから発信を行います。

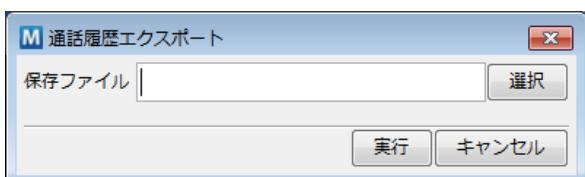
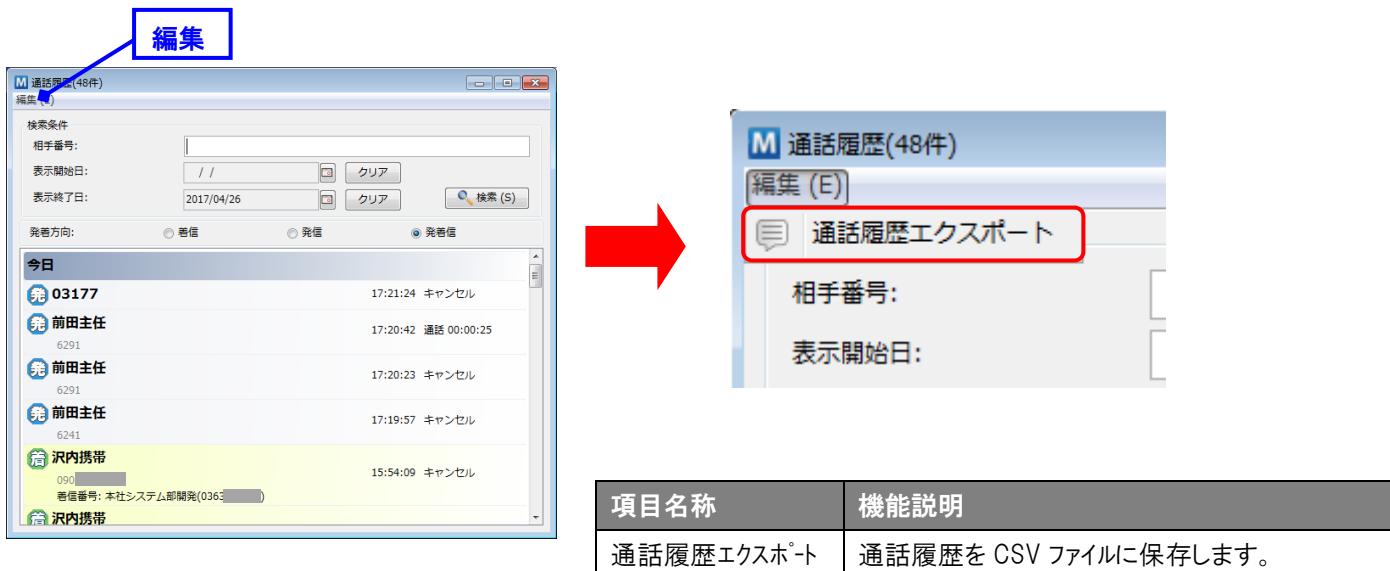
通話履歴の保存件数は最大で 1000 件です。



項目名称	機能説明
検索条件	
相手番号	入力した番号に対する通話履歴を表示します。(前方一致)
表示開始日	この日以降の通話履歴を表示します。[クリア]ボタンを押すとクリアされます。
表示終了日	この日以前の通話履歴を表示します。[クリア]ボタンを押すとクリアされます。
発着方向	選択された発着信方向の通話履歴を表示します。
履歴表示(通話履歴はローカルPCに保存されます。)	
日付	通話開始日です。ダブルクリックすると当日の履歴全てを表示/非表示にできます。
履歴エントリ	1 通話分の履歴です。ダブルクリックすると相手番号に発信します。また右クリックするとサブメニューが表示され、[顧客情報の表示・登録]および[発信]を行えます。
アイコン	発信または着信の方向を示すアイコンです。
相手番号 / 名称	通話の相手番号を表示します。電話帳に登録済の番号の場合は連絡先名称を表示し、下に番号を表示します。
着信番号	着信した外線自局番号、グループ番号を表示します。
開始時刻	通話の開始時刻を表示します。通話を行わなかった場合は発着信を行った時刻を表示します。
通話時間 / 状態	通話していた時間を表示します。通話を行わなかった場合はその状態を表示します。

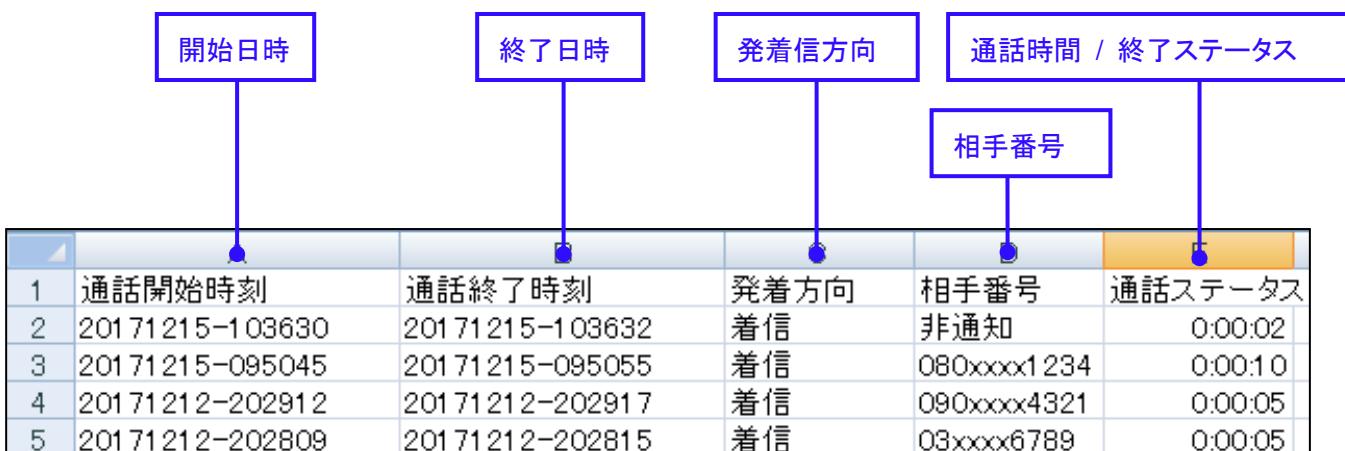
7-2. 通話履歴のエクスポート

通話履歴ウィンドウのツールバーの[編集]-[電話帳エクスポート]より、PCに保存されている全ての通話履歴を CSV ファイルとして保存することができます。



項目名称	機能説明
保存ファイル	データの保存先ファイルを選択または入力します。

出力される CSV ファイルは以下の形式になります。



8. ソフトウェアの更新

8-1. アップデート確認

タスクトレイアイコンを右クリックしてメニューを表示し、「アップデート確認」の項目をクリックすると、更新用ページにWebアクセスを行い、本アプリケーションの新しいバージョンが公開されていないか確認します。

アップデート確認は、設定によりアプリケーション起動時に自動的に行うこともできます。

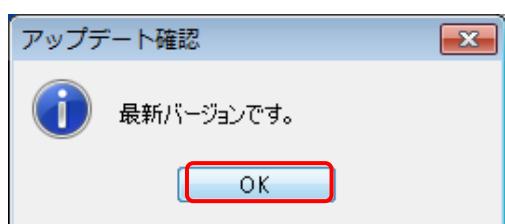


8-2. 最新バージョンにアップデート

新しい版が見つかった場合、バージョンアップダイアログを開き、更新内容を表示します。

[インストール]を選択すると、最新版をダウンロードして更新を行います。

「次回はこのメッセージを表示しない」にチェックを入れると、次回から起動時のアップデート確認を行いません。再度起動時に確認するようにしたい場合は設定画面を変更してください。



現在のソフトウェアが最新である場合はその旨が表示されます。

9. 仕様

電話機能系	
呼制御プロトコル(SIP)	RFC3261 ベースの独自仕様(サーバ側として MOT/PBX 以外の接続不可) MOT/PBX と接続する電話クライアントのセッション中継処理
音声制御機能	未対応(配下端末にて RTP セッションを直接張る)
対応 OS	Windows 7(32/64bit)、 Windows 8(32/64bit)、 Windows 10(32/64bit)
接続先	CloudPhone Biz
JVM	JRE6 Update 18~、JRE7、JRE8(本ソフトウェアは Java を利用しております。)
推奨スペック	CPU:Intel Pentium4/Core 2 Duo:/Core Solo 1GHz 以上推奨 メモリ:1GB 以上推奨(電話クライアント推奨環境)
利用番号数	2アカウント迄(手動切り替え方式)
NAT 下での利用	可能
通話履歴件数	200 件 × 5 ファイル

CloudPhone Biz POP-UP 操作・設定ガイド

2019年10月1日 第1. 40版

株式会社アジャスワン